

児童生徒等に新型コロナウイルス感染症が発生した場合の
対応について（第二報）（令和2年2月25日時点）

（感染者がいない学校も含む積極的な臨時休業について）

4. 1. 及び2. とは別に、地域全体での感染防止を抑えることを目的に、新型コロナウイルスの地域における流行早期の段階において、都道府県等の衛生部局ほか首長部局とも十分に相談し、公衆衛生対策として、学年末における休業日の弾力的な設定などの措置により、感染者がいない学校も含む積極的な臨時休業を行うことも考えられる。この場合には、対外的な交流イベントなど地域の児童生徒等が集まる行事なども含めて幅広く対策を検討する必要がある。

出典：文部科学省作成資料

「児童生徒等に新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について」

（第二報）（令和2年2月25日時点）より抜粋

27日の新型コロナウイルス感染症対策本部会合での安倍晋三首相の発言は以下の通り。
◇ 一昨日決定した対策の基本方針で示した通り、感染の流行を早期に終息させるためには、患者クラスター（集団）が次のクラスターを生み出すことを防止することが極めて重要で、徹底した対策を講じるべきと考えている。
北海道では明日から道内全ての公立小中学校が休校に、また千葉県市川市でも市内全ての公立学校が休校に入る。このように各地域で子供たちへの感染拡大を防止する努力がなされているが、この1、2週間が極めて重要な時期だ。

新型肺炎対策会合 首相発言全文

このため政府としては何よりも子供たちの健康、安全を第一に考え、多くの子供たちも教員が日常的に長時間集まることによる感染リスクにもあらかじめ備える観点から、全国全ての小学校、中学校、高校、特別支援学校について来週3月2日から春休みまで臨時休校を行うよう要請する。
なお、入試や卒業式などを終えていない学校もあると思うので、これらを実施する場合には感染防止のための措置を講じたり、必要最小限の人数に限り開催したりするなど、万全の対応をできるようにお願いする。

また、行政機関や民間企業などは引き続き休めが取りやすい環境を整えてもらうことにも、子供を持つ保護者への配慮をお願いする。こうした措置に伴って生じるさまざまな課題に対しては、政府として責任を持って対応していく。
さらに、スポーツジムなど特定の場所での感染の拡大が見られる事例もあったことから、こうした場所などで感染リスクを下げるためにはどのような対応が必要なのか、専門家の意見も聞きながら、至急対策を取りまとめてほしい。
最後に今後、新型コロナウイルス感染症の国内でのさらなる感染拡大も懸念される。そのため既存の各種対策の実効性をさらに高めるとともに、感染拡大を抑制し、国民生活や経済に及ぼす影響が最小となるようにするため、必要となる法案について早急に準備してほしい。

出典：新型肺炎対策会合 首相発言全文（令和2年2月28日 産経新聞 5面記事より）